

### 3 インタビューをしよう

インタビューというのは、「話を聞きたいと思える相手」に、「聞いてみたいことと話してみたいこと」をインタビューする、という点が重要である。また、自分が知りたいと思う事柄について情報を得るために、相手を探してインタビューする場合もある。いずれの場合も、JSLの生徒たちにとっては日本語面でのハンディのために、自分が聞きたいことと実際に聞けることの間ギャップがあるのが現状であろう。しかし、改まった場を設定し、一人の人と向き合ってインタビューするという体験は、日常会話から一步進んだ「話し・聞く」力を育てる上でも大切であると考え、この単元を設定した。まだ、日本語力がかなり限られる生徒でも、無理のないタスクを設定すれば、支援者の補助を得ながらインタビューをこなし、実質的なコミュニケーションを体験することができると考えられる。そのことが子どものコミュニケーションへの意欲を育てるきっかけになればと思う。

- 1 領域 話すこと・聞くこと
- 2 教材 インタビューのサンプル（テレビ、ラジオなどから）
- 3 目標 ・下準備をしてから、インタビューを実施し、その結果をまとめる
- 4 指導時間 4～5時間
- 5 指導形態 取出しでの指導
- 6 指導事項・言語スキル

領域	指導事項	言語スキル
話すこと ・ 聞くこと	<b>【考えや意見】</b> ・話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取る。 <b>【構成や論理】</b> ・全体の構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりする。	・必要な情報を選んでメモを取ることができる。 ・相手の発話を聞いて、適切に質問することができる。
言語事項	<b>【話や文章、文】</b> ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることに気付く。 <b>【言語生活】</b> ・敬語についての理解を深め、生活の中で適切に使えるようにする。	・相手、テーマによって、インタビューの構成を工夫することができる。 ・相手に応じて、自分の話し方を調整することができる。

## 7 指導計画

	学習活動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
1 次 1 時 間	<p>○インタビューとは何かを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ・ラジオ等からインタビューのサンプルを持ってきて全員で聞き、分かることを出し合う。 (誰が/何について話しているか、インタビュアーのよい点・悪い点等)</li> <li>・インタビューについての過去の経験を話す(過去に見たり、聞いたり、実際に経験したことがあるか/どんな内容だったか等)。</li> </ul> <p>○インタビューの動機付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの力にあわせて展開のタイプを選ばせる。</li> </ul> <p><b>展開A [できるだけ多くの人と話そう]</b></p> <p><b>展開B [一人の人とできるだけ長く話そう]</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語の形式ではなく、内容に注意して聞き取ることができる。</li> <li>・自分の経験を相手に分かるように話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューのサンプルは、生教材だと理解が難しい場合は、自主制作して準備する。</li> <li>・第二言語あるいは母語での先行経験と関連づけて、既知知識の活性化を図る。</li> <li>・インタビューのイメージが出てこない場合は、教師側から具体例を示す。</li> </ul>

### ◆展開A：例「先生にインタビュー」(できるだけ多くの人と話す)

2 次 2 時 間	<p>○インタビューの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを考える。</li> <li>・質問文を書く。</li> <li>・インタビューの切り出し方切り上げ方を考える。</li> <li>・生徒同士又は教師を相手に模擬練習をしてフィードバックしあう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだテーマについて質問の内容を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★今の日本語力で聞けそうなテーマについて、いくつか例を挙げる。</li> <li>・発展して質問できるようなテーマになるようアドバイスする。</li> </ul> <p>例: 外国へ行ったことがありますか/いつ/誰と/どこ/驚いたこと困ったこと等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シートを準備する。</li> </ul>
-----------------------	---	---	---

3 次  1 時 間	<p>○インタビューを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手とのアポイントを取る。</li> <li>・実際にインタビューをする。</li> </ul> <p>・記録用紙に記録する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーを守って依頼することができる。</li> <li>・相手に分かるように質問することができる。</li> <li>・相手の話を聞きながら反応を示すことができる。</li> <li>・相手の話の中から必要な情報を聞き取ることができる。</li> <li>・聞きながら大切なことをメモすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予め、先生方の空いている時間を調べておいて依頼しやすいようにしておく。</li> </ul> <p>★その場で記録を取るのが困難な生徒の場合は録音の道具を準備させる。</p>
4 次  1 時 間	<p>○インタビュー結果をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果を一覧表にまとめる。</li> <li>・表から読み取れる内容を報告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の人から聞き取った内容を一覧表にまとめることができる。</li> <li>・事実と考えの部分を明確にして話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表の縦横にどういう項目をたてればよいか、等アドバイスをする。</li> </ul> <p>★インタビューの結果とそこから読み取れた内容についての自分の考えを区別して書けるようアドバイスする。</p> <p>例：○○の結果は～でした 私は～～と思いました、 等</p>

◆展開B：例「友達にインタビュー」（一人の人とできるだけ長く話す）

2 次  2 時 間	<p>○インタビューの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を決める。</li> <li>・質問項目を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを知るためにはどんな質問をすればよいか考えることができる。</li> </ul>	<p>★取り出しクラス又は在籍クラスの中からインタビューしたい人を選ぶ。可能であれば、できるだけ生徒が話を聞きたいと思える相手を選びたい。</p> <p>★テーマの例を、ヒントとして一覧表にして示してもよい（クラスの状況によっては、インタビューされる側に聞いてほしい</p>
---------------------------	--	---	---

	学習活動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問文を書く。</li> <li>・インタビューの切り出し方切り上げ方を考える。</li> <li>・担当教師を相手に模擬練習をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が知りたいことを尋ねる表現を考えられる。</li> </ul>	<p>テーマを、予め選んでおいてもらう)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマの発展のさせた方については思考マップ(別紙)の形などでヒントを示す(母語で書いてもよしとする)。</li> </ul> <p>★質問文を考える際に日本語の例を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬練習で、時間を15分など区切って、長さを実感できるようにする。その上で、必要に応じて質問をさらに準備するよう支援する。</li> </ul>
3 次 1 時 間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インタビューを実施する。</li> <li>・実際にインタビューをする(許可を求めてから録音する)。</li> <li>・記録用紙に記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手にあった話材を選ぶことができる。</li> <li>・相手の答えを聞き取ることができる。</li> <li>・聞きながら反応を示すことができる。</li> <li>・相手の答によってさらに質問をすることができる。</li> </ul>	<p>★自力でインタビューを続けるのが困難な場合は、傍らで状況に応じて支援する。</p>
4 次 1 時 間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インタビュー結果をまとめる。</li> <li>・記録用紙に書いた内容を項目別に整理し直す。</li> <li>・インタビュー相手を紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた材料を整理して発表することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録を項目毎に整理する際に、方法を示す。</li> </ul> <p>例：記録用紙を項目毎に切り離してバラバラにして、分類し直してから、紹介していく順序を考える。</p>

◆**その他の展開例** 職業体験などと絡めて実施することが可能な場合は、体験先でその仕事についてのインタビューを実施できるとよい

◆**参考文献** 日本語教育研究会資料シリーズ編集委員会(1988)  
『コミュニケーション重視の学習活動1 プロジェクトワーク』

## インタビュー テーマ一覧

食べ物

テレビ

学校

音楽

病気

ファッション

電話

映画

勉強

家族

故郷

名前

仕事

ゲーム

本

スポーツ

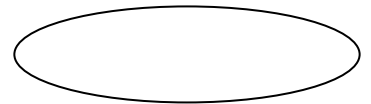
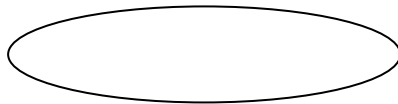
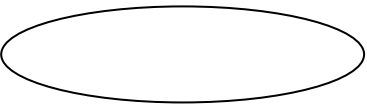
動物

恋人

睡眠

けんか

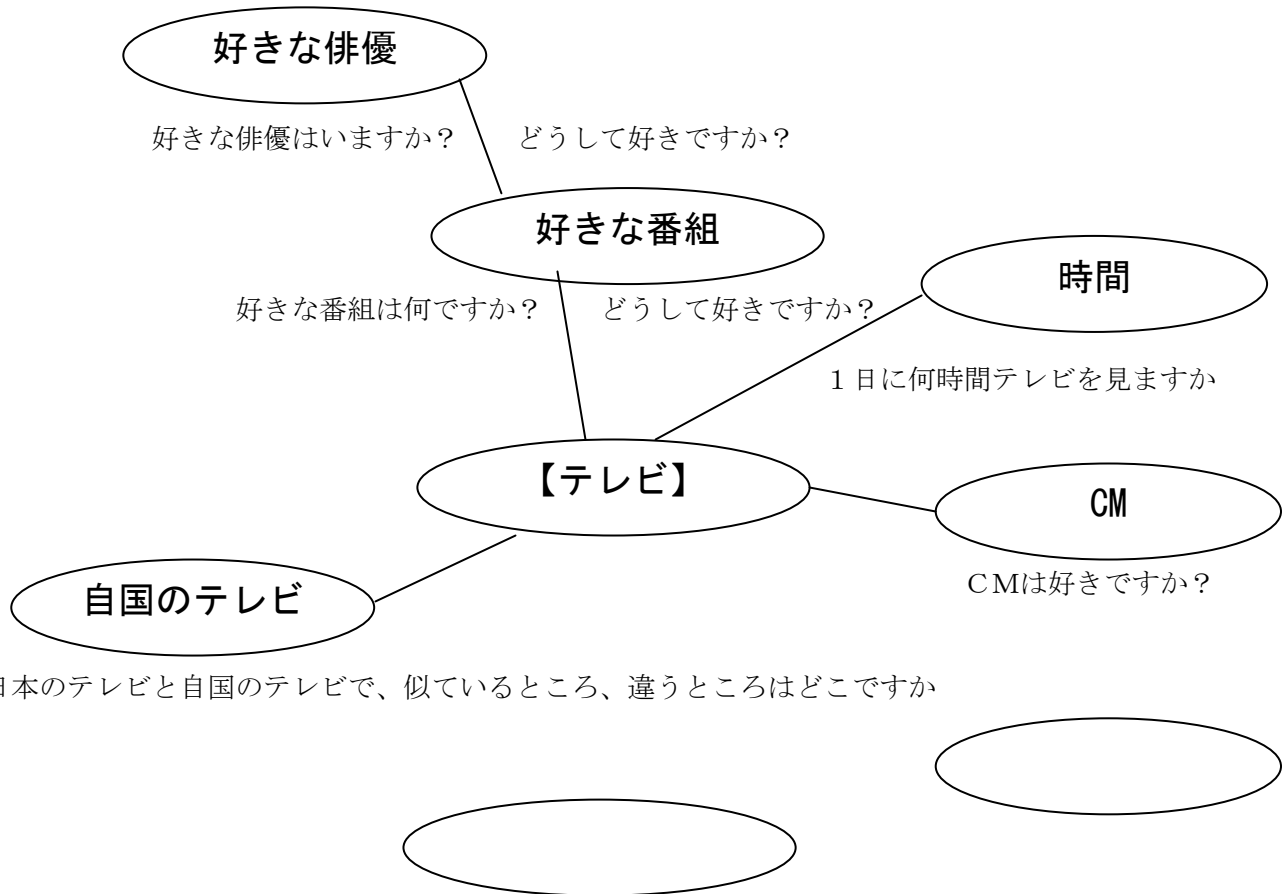
思い出



## 思考マップ 例【テレビ】

①テーマから思いつくことを ○の中に どんどん書いていこう  
(日本語でも母語でも可)

②質問文を下に書こう (日本語で)



## 先生にインタビュー

日時		
場所		
インタビュアー	(=インタビューする人)	
インタビューイ	(=インタビューされる人)	
テーマ		
質問	回答	メモ

